

科目: 小論文(教育学部学校教育課程幼小連携教育コース:後期)

小論文(教育学部学校教育課程小中連携教育コース:後期)

1. 出題意図

本問は、社会情動的スキルの水準と個別教科(国語／数学・算数／美術)の成績との相関関係をめぐるOECD(経済協力開発機構)調査結果を素材に用いて、受験生における次のような諸能力について判定・審査することを企図したものである。すなわち、問題に呈示されたデータを正確に読解・分析する能力や、それに基づいて(現下の教育環境や自身の学校体験などを加味しつつ)当該データの背景にある諸要因を論理的に考究・推察する能力、さらに、そのような思考プロセスを明確に言語化して表現・説明する能力である。昨今の大学入試においては「思考力・判断力・表現力」が重視される傾向が強い。本学部の後期日程「小論文」問題も、これまで同様の観点に立って作成されてきたが、過去の問題と比較した場合、今回(本問)は特にグラフデータの読み取りに重点を置いた点が特徴的といえるだろう。所与のデータを理解・解析できる一定程度の能力は、教育学部の入学生に等しく必要な(入学までに身に付けておいてほしい)ものであることも踏まえ、今回は、幼小連携教育コースと小中連携教育コースにおいて同一の問題を共通に出題した。